

第52回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2008年10月20日(月) 午後6時30分～8時30分	
講 師	太田 浩史也 先生(高岡教区 大福寺住職)	
講 題	民衆真宗史に学ぶ「いのち」のあり方	
日 程	6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

太田 浩史(おおた ひろし)

1955年、富山県に生まれ。高岡教区大福寺住職。現在、本山同朋会館教導をつとめられる一方。となみ民藝協会会長、日本民藝協会常任理事として、地域の伝統文化の継承や文化の普及を通して様々な町おこしの運動に参画されておられる。

著書に、『柳宗悦と南砺の十徳』『民衆の中で成長した親鸞伝』

先生からのメッセージ

「いのち」は大切だというけれど、「いのち」ほど漠然としてあいまいな言葉はありません。「いのち」を粗末にすることを迷いといいます。それは、「いのち」の意味が明確ではないからです。親鸞聖人は、「いのち」をどのように明らかにされたのか、蓮如上人はそれをどう実践されたか、そして私たちの先祖は、それをどのように生活の上に表現したか。民衆の真宗史に学びましょう。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033